本場おもんぱカリー

Track by みるきー
Rap by すぎ乃花粉（ﾊﾅｺ）

「暫し美酒に酔えど昂るは不満」　と飲みの誘いも置いて暗くなる前に
帰宅目指す　彼を晩御飯の支度して待つ　「与えたい安堵感を」
なんと！ナンもないし具沢山　インド人もビツクリのカレー作り
彼へ尽くし　ては尽くされ　手厚く慈しみ合う　家族は一体（トリムルティ）

多事多端なカレのため想って　家事が担当の私なりのおもてなし　サァたんと召し上がれ
お肉は但馬産？…じゃないけど、普段より高め！
疲れて帰る家庭が彼にとって聖域であれ
そういう風に願ってお鍋を掻き回す　ソウルフードのカレーでお出迎え
責任、甚大で額に汗滲ませてても　やるときゃやる夫
だからたまにぐらいは　しこたま労い　肩に負う荷を　かたし返す恩に恩＼ﾖｲｼｮ／
老いも二人の人生散歩　手と手はぎゅうと結ばれ一生、一緒
衣食住のため　苦渋も舐めたろう舌に　お口直し

「食事が用意できましたわｯ」＼ｼﾞｬｼﾞｬｰｯ／

カレーの本場はインドの方でも
彼への慮りの情の出処どこ？
相手（あえて）想ってること　言葉に込めないシャイな国民性から生まれくるの
カレーの献立で　金曜の夜を
彼への恩返し　に日頃の心ごと
じっくりコトコトと煮込めば　謝意とコク満ちて
カラうまメニューとなる

帰宅時刻チャクラのセンサー使い予想
いたく落ち込んでたって詮索はよそう
だってカレが努めていつも通り装う
ならばただ、つと目をやり　ライス大盛り粧う
そこにトロリ注ぐ　黄金の熱い河
程よい同調を　ほんの隠し味に
謀は緻密　喜ばそうと張り切る　小さなサプライズがピリ辛なスパイス
そんな慎ましい暮らしの中、睦まじい二人の仲を
取り持つキー　正に互いの気回し
心は汲み出し、　言葉なく理解し合いたい
やたら「腹の中は明かさぬが花」って肌から学んだから
インド料理を支えるガラムマサラのように
マインドの芯のほうに　冴える慮り

「どう？おかわり」

カレーの本場はインドの方でも
彼への慮りの情の出処どこ？
相手を想ってること　言葉に込めないシャイな国民性から生まれくるの？
カレーの献立で　金曜の夜を
彼への恩返し　に日頃の心ごと
じっくりコトコトと煮込めば　謝意とコク満ちて
カラうまメニューとなる

口頭じゃ分かりあえぬ　本当の苦悩
想像でカバー　問答など不要
散々なその日に　傷を撫でるなかれ
団欒の歓談あれば　重苦涸れる
互い　人生の枯野を往時　彷徨って
出逢う合流点に　「おうち」象って
暮らしは　今　花盛り
温かい気持ち　抱こう　包まろう